

# 季節風

○…「こども気象学士育成教室」が12日、那覇市の沖縄气象台で開かれ、約40人の小学生と父母が講義を聴き、津波や火山噴火を再現する実験に目を凝らした＝写真。

○…講義では、气象台職員が積乱雲の特徴や大雨による過去の事故などを紹介。実験コーナーでは断層をずらすと波が起きる模型などで、自然災害が起きる仕組みを学んだ。

○…竜巻の仕組みが気になって



参加した沖縄カトリック小3年の辺土天俊君(9)＝浦添市＝は「竜巻の実験も、噴火の実験も分かりやすく楽しくなった」と満面の笑みだった。

2014年8月13日(水) 沖縄タイムス



## 「気象学士」に挑戦

学会講座 親子20組、実験に歓声

【豊見城】天気の仕事認定する気象学士認定試験を受ける。

みや自然災害について学ぶ「子ども気象学士」

12日は地震や津波、台風、大雨や雷について学ぶ講座と実験があった。

(日本気象学会沖縄支部主催、FMとよみ協力)

台風に関する講座は予報課の佐藤幸隆さんが担当

の講座が那覇市樋川の沖縄气象台で11日から開かれ、県内各地から20組の親子が受講している。5日間の日程で気象に関する知識を学び、同支部が

小5年11は講師に2度質問し、実験の様子を動画撮影するなど意欲的に学んだ。「液化化現象の実験から自然の威力のすごさを感じた。試験はベストを尽くしたい」と意気込んだ。

火山噴火実験で結果を見守る児童ら12日、那覇市樋川の沖縄气象台

かなどの質問があった。火山噴火、津波や竜巻などの仕組みを再現する実験では、身近に目にする気象変化に歓声飛び交った。

大城寛汰君(10)＝読谷

講座ではほかに沖縄に伝わる天気のことわざ、気象予報士から天気図の見方などを学ぶ。認定試験の結果発表は最終日の15日にあり、点数に応じて3級から1級までの認定書と認定バッジが児童に贈られる。

認定する気象学士認定試験を受ける。12日は地震や津波、台風、大雨や雷について学ぶ講座と実験があった。台風に関する講座は予報課の佐藤幸隆さんが担当し「台風の強さは形や目の特徴から知ることができると説明した。児童からは「特別警報を出す基準を教えてください」「年間どれだけ台風が発生し、いつ沖縄に来るの